



平成29年9月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年5月11日

上場会社名 株式会社 大森屋

上場取引所 東

コード番号 2917 URL <http://www.ohmoriya.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 稲野 龍平

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 中田 勝

TEL 06-6464-1198

四半期報告書提出予定日 平成29年5月12日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年9月期第2四半期の連結業績(平成28年10月1日～平成29年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年9月期第2四半期	8,310	2.2	103	309.3	110	231.8	62	5,277.1
28年9月期第2四半期	8,494		25		33		1	

(注) 包括利益 29年9月期第2四半期 83百万円 (%) 28年9月期第2四半期 11百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年9月期第2四半期	12.23	
28年9月期第2四半期	0.23	

(注) 平成28年9月期第2四半期の包括利益は 11百万円であったため、平成29年9月期第2四半期の対前年同四半期増減率は記載していません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年9月期第2四半期	13,827	9,650	69.8	1,902.49
28年9月期	12,154	9,642	79.3	1,901.07

(参考) 自己資本 29年9月期第2四半期 9,650百万円 28年9月期 9,642百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年9月期		0.00		15.00	15.00
29年9月期		0.00			
29年9月期(予想)				15.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年9月期の連結業績予想(平成28年10月1日～平成29年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	16,620	0.5	240	40.8	250	36.5	150	30.8	29.57

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年9月期2Q	5,098,096 株	28年9月期	5,098,096 株
期末自己株式数	29年9月期2Q	25,761 株	28年9月期	25,761 株
期中平均株式数(四半期累計)	29年9月期2Q	5,072,335 株	28年9月期2Q	5,072,506 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する注記は本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

なお上記予想に関する事項については、添付資料3ページの「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(4) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、企業業績や雇用・所得環境に改善がみられ、景気は緩やかな回復基調にありましたが、新興国経済の減速や英国のEU離脱、米国の新政権の今後の政策への懸念など、景気の先行きは依然として不透明なまま推移いたしました。

当社グループを取り巻く市場環境といたしましては、主要原材料である原料海苔が収穫量の不安定なことなどにより3年続いて仕入価格が高騰するなど、大変厳しい環境で推移いたしました。

このような状況のもと、当社では原料海苔仕入価格高騰によるコスト増を製品価格の値上げによりカバーするべく販売活動を展開するとともに、販売促進費を中心とした経費削減に注力し、経営効率の向上に努めてまいりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は8,310百万円（前年同期比2.2%減）となりました。利益面におきましては、営業利益は103百万円（前年同期比309.3%増）、経常利益は110百万円（前年同期比231.8%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は62百万円（前年同期比5277.1%増）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

(食品製造販売事業)

売上高を品目別に分類しますと、家庭用海苔につきましては、一部製品価格の値上げを実施したことなどによる販売数量の減少により、売上高は3,384百万円（前年同期比3.2%減）となりました。進物品につきましては、ギフト市場の不振により、売上高は840百万円（前年同期比4.7%減）となりました。ふりかけ等につきましては、新製品の寄与により、売上高は1,704百万円（前年同期比3.5%増）となりました。業務用海苔につきましては、既存取引先での販売が減少し売上高は2,361百万円（前年同期比1.6%減）となりました。

以上の結果、食品製造販売事業の売上高は8,303百万円（前年同期比2.2%減）、営業利益は100百万円（前年同期比350.9%増）となりました。

(不動産賃貸事業)

不動産賃貸事業の売上高は7百万円（前年同期比10.3%増）となり、営業利益は3百万円（前年同期比12.2%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(1) 資産、負債及び純資産の分析

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて1,673百万円増加し、13,827百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べて1,698百万円増加し、11,106百万円となりました。これは主に、たな卸資産が3,014百万円、その他の流動資産が240百万円それぞれ増加したこと、現金及び預金が1,483百万円、受取手形及び売掛金が69百万円それぞれ減少したことによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて24百万円減少し、2,721百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて1,738百万円増加し、3,668百万円となりました。これは主に、短期借入金が増加1,800百万円、その他の流動負債の減少75百万円によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて72百万円減少し、509百万円となりました。これは役員退職慰労引当金の減少67百万円及び退職給付に係る負債の減少5百万円によるものであります。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて7百万円増加し、9,650百万円となりました。これは主に、その他有価証券評価差額金の増加13百万円によるものであります。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べて1,083百万円減少し、225百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は3,189百万円(前年同期比1,863百万円増)となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益110百万円(前年同期比77百万円増)、売上債権の減少額70百万円(前年同期比199百万円減)、減価償却費54百万円(前年同期比2百万円減)の収入があったものの、たな卸資産の増加額3,013百万円(前年同期比1,317百万円増)、その他の資産・負債の増加額290百万円(前年同期比289百万円増)、役員退職慰労引当金の減少額67百万円(前年同期は6百万円の増加)、法人税等の支払額62百万円(前年同期は法人税等の還付額66百万円)の支出があったことによるものであります。

なお、当社の主要原材料である海苔は、おおよそ11月から翌年3月にかけて収穫され、この期間に翌1年分の原料海苔を仕入れるため、第2四半期連結会計期間末ではたな卸資産が増加いたします。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果得られた資金は378百万円(前年同期は21百万円の支出)となりました。これは主に定期預金の減少額400百万円があった一方、有形固定資産の取得による支出18百万円(前年同期比0百万円減)によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は1,724百万円(前年同期比1,200百万円増)となりました。これは主に短期借入れによる収入1,900百万円(前年同期比1,100百万円増)があった一方、短期借入金の返済による支出100百万円(前年同期比100百万円減)、配当金の支払額75百万円(前年同期比0百万円減)によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点における連結業績予想につきましては、平成28年11月11日に公表いたしました業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

(4) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,709,156	225,684
受取手形及び売掛金	2,823,323	2,754,184
たな卸資産	4,824,104	7,838,410
繰延税金資産	34,917	31,274
その他	16,414	256,710
流動資産合計	9,407,915	11,106,264
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,289,778	2,289,778
減価償却累計額	△1,828,996	△1,847,624
建物及び構築物(純額)	460,782	442,154
機械装置及び運搬具	1,787,715	1,822,084
減価償却累計額	△1,568,687	△1,594,066
機械装置及び運搬具(純額)	219,027	228,017
土地	1,509,111	1,509,111
その他	252,863	253,170
減価償却累計額	△239,216	△242,079
その他(純額)	13,647	11,091
有形固定資産合計	2,202,569	2,190,375
無形固定資産	35,588	29,942
投資その他の資産		
投資有価証券	391,706	414,377
繰延税金資産	74,773	45,164
その他	52,630	52,416
貸倒引当金	△11,000	△11,000
投資その他の資産合計	508,110	500,958
固定資産合計	2,746,268	2,721,276
資産合計	12,154,184	13,827,540
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	822,695	857,345
短期借入金	—	1,800,000
未払金	814,679	836,552
未払法人税等	71,000	32,000
賞与引当金	81,108	77,650
その他	139,667	64,547
流動負債合計	1,929,151	3,668,095
固定負債		
役員退職慰労引当金	224,850	157,229
退職給付に係る負債	357,316	352,131
固定負債合計	582,166	509,361
負債合計	2,511,317	4,177,456

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	814,340	814,340
資本剰余金	1,043,871	1,043,871
利益剰余金	7,711,518	7,697,463
自己株式	△25,070	△25,070
株主資本合計	9,544,659	9,530,604
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	130,453	143,798
為替換算調整勘定	6,249	8,939
退職給付に係る調整累計額	△38,495	△33,258
その他の包括利益累計額合計	98,207	119,479
純資産合計	9,642,866	9,650,084
負債純資産合計	12,154,184	13,827,540

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年10月1日 至平成28年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年10月1日 至平成29年3月31日)
売上高	8,494,791	8,310,867
売上原価	5,689,552	5,612,857
売上総利益	2,805,238	2,698,009
販売費及び一般管理費	2,779,835	2,594,030
営業利益	25,403	103,978
営業外収益		
受取利息	155	39
受取配当金	3,188	3,467
為替差益	325	1,452
その他	4,394	1,838
営業外収益合計	8,063	6,797
営業外費用		
支払利息	159	262
営業外費用合計	159	262
経常利益	33,307	110,514
特別利益		
固定資産売却益	1,084	—
特別利益合計	1,084	—
特別損失		
固定資産除却損	11	—
固定資産売却損	—	28
ゴルフ会員権評価損	1,400	—
特別損失合計	1,411	28
税金等調整前四半期純利益	32,981	110,485
法人税、住民税及び事業税	18,245	23,395
法人税等調整額	13,582	25,059
法人税等合計	31,827	48,454
四半期純利益	1,153	62,030
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,153	62,030

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年10月1日 至平成28年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年10月1日 至平成29年3月31日)
四半期純利益	1,153	62,030
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△14,507	13,344
為替換算調整勘定	△2,070	2,690
退職給付に係る調整額	3,778	5,237
その他の包括利益合計	△12,799	21,272
四半期包括利益	△11,645	83,302
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△11,645	83,302
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年10月1日 至平成28年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年10月1日 至平成29年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	32,981	110,485
減価償却費	57,331	54,914
受取利息及び受取配当金	△3,343	△3,506
支払利息	159	262
固定資産売却損益(△は益)	△1,084	28
固定資産除却損	11	—
会員権評価損	1,400	—
為替差損益(△は益)	614	△993
売上債権の増減額(△は増加)	270,087	70,835
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,696,295	△3,013,965
仕入債務の増減額(△は減少)	△60,333	18,804
賞与引当金の増減額(△は減少)	△2,037	△3,457
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	6,100	△67,620
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△19	△5,184
その他	△1,184	△290,669
小計	△1,395,614	△3,130,066
利息及び配当金の受取額	3,393	3,606
利息の支払額	△272	△705
預り保証金の受取額	96	—
預り保証金の返戻額	△442	—
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	66,541	△62,687
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,326,298	△3,189,853
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の純増減額(△は増加)	—	400,000
有形固定資産の取得による支出	△19,204	△18,252
有形固定資産の売却による収入	1,084	18
投資有価証券の取得による支出	△3,299	△3,442
貸付金の回収による収入	160	250
その他の投資等の取得による支出	△738	△95
その他の投資等による収入	135	85
投資活動によるキャッシュ・フロー	△21,862	378,563
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	800,000	1,900,000
短期借入金の返済による支出	△200,000	△100,000
自己株式の取得による支出	△186	—
配当金の支払額	△75,596	△75,491
財務活動によるキャッシュ・フロー	524,217	1,724,508
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2,187	3,308
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△826,130	△1,083,472
現金及び現金同等物の期首残高	1,077,460	1,309,156
現金及び現金同等物の四半期末残高	251,330	225,684

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成27年10月1日 至 平成28年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整	合計
	食品製造販売事業	不動産賃貸事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	8,488,384	6,406	8,494,791	—	8,494,791
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	8,488,384	6,406	8,494,791	—	8,494,791
セグメント利益	22,287	3,116	25,403	—	25,403

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成28年10月1日 至 平成29年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整	合計
	食品製造販売事業	不動産賃貸事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	8,303,798	7,069	8,310,867	—	8,310,867
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	8,303,798	7,069	8,310,867	—	8,310,867
セグメント利益	100,483	3,495	103,978	—	103,978

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社グループの事業セグメントは、食品製造販売事業及びその他の事業である不動産賃貸事業であります。不動産賃貸事業の開示情報としての重要性が乏しいため、セグメント情報の記載を省略しておりましたが、前連結会計年度において、事業セグメントの区分方法を見直し、報告セグメントを「食品製造販売事業」及び「不動産賃貸事業」といたしました。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。